

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リトルグリーンバード こくぼ教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月12日		2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年1月12日		2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の児童が、きょうだい児のような関わり合いができ、自分の気持ちの整理や社会性スキルを伸ばしていける場所となっている。	・大人が介入しすぎず、子どもたちの横のつながりを大切にしている。 ・高学年は、未就学児の気持ちの育ちについて、自身の成長と重ね、他児への理解や受け入れる気持ちがあるため、年下児童に寄り添える。	・他教室との交流を積極的に図る。 ・地域資源の活用で、外での経験を重ねていく。
2	福祉サービスと習い事・部活などの利用バランスがとれている。	・習い事や部活に取り組み子どもたちの影響もあり、興味関心が広がっている。 ・地域での活動場があることで、交友関係を広げていける。 ・発表会や大会などがある時には、見学・応援に行っている。	・保護者様が写真や動画で記録したものを、他児にも見せて、外での取り組みをみんなで称賛していく。 ・福祉サービスで培った社会性や人間力などを外の環境で存分に発揮していただき、チャレンジしていける機会につなげていく。
3	子どもたち主体で活動や立案したことを実践していく。	・児童ミーティングで子どもたちがやりたいこと、食べたいことなどの要望を聞いて、活動に取り入れていく。 ・イベントの案内ポスターを教室内に掲示・配布し、見通しや楽しさを可視化し、利用につなげている。	・高学年がリードし、集団活動の考案、主としてまとめることなど、リーダー経験ができる。 ・祝日、長期休みで滞在時間が長い時に、外出経験、外食経験、クッキングなど、普段とは違う取り組みを導入し、「また行きたい」「楽しかった」「自信になった」などの気持ちの育ちにつなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	徒歩圏内の園や学校の受け入れが少ない。	・徒歩圏内の園や学校への周知がまだ弱い。	・近隣公園で出会う学童や小学生たちとの関わりで、リトルの周知につなげていく。 ・パンフレット配布で営業に行く。 ・相談員にリトルの取り組み内容や見学をアピールする。
2	祝日の集客が難しい。	・家族の休みとかぶることが多く、家族と過ごしたい希望が多い。	・午前だけ、午後だけ、のように時間調整を提案しながらの利用促しをしていく。 ・子どもたち自身が立案したことを祝日に計画し、リトルへ来る理由付けを明確にしていく。
3	保護者支援に対するアプローチ・助言・情報提供が弱い。	・モニタリングが自宅となったことで、関係機関が一同に集まり情報共有する場がなくなったことへの対応策が弱い。	・定期的な家族会で、子どもたちの取り組み内容の共有、成長確認、卒業の見通しなどを共有していく。 ・他デイとの併用、習い事への移行について、他保護者からの情報を広報誌に載せ、配布する。 ・面談希望者には柔軟に対応し、現状確認や今後の見通し、取り組みなどについて共通理解を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リトルグリーンバードこくば教室				公表日	2026年3月25日	
					利用児童数	5名	回収数 5/5
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0	・新しい所に移り、スペースも広くなり のびのびできると思います。	スペースが広くなり、活動しやすくなりました。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	1	・車の送迎時、ゲストの人数に対し、 スタッフ数も配慮されている。 ・児童10人にスタッフが4人、5人は手厚 いと感じる。	配置基準の児童指導員は満たしておりま す。職員写真は、玄関に掲示しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	2	・新しく引越してからの教室内 を見ていないので分からない。	3月に内覧を兼ねた家族会を予定してい ます。写真では伝わりづらさがあったかと思 いますので、ぜひご参加いただけましたら嬉し いです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	1	・前教室の時もいつもキレイにしてい たと思います。	子どもたちの活動内容に応じて机の配置 を移動しています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	4	0	0	1	・1人ひとりに合わせた対応ができてい ると思います。	アセスメントを通して、お子様の発達状態を確認 し、課題や困り感に対して選択肢や落ち着き が得られるよう、関わっています。また全教室で毎 月、事例検討や研修にて知識を深めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	4	0	0	1	・予定表ならび、毎月のリトルだよりで 可視化が出来ている。	5領域に沿って、支援プログラムを作成し ています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	4	0	0	1	・子どもの成長に合ったプログラムが 考えられていると思う。	定期的にあセスメントを更新し、関係機 関との支援者会議にて現状確認と、支援の方 向性について話し合いをしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	1	・その都度、課題に対して話し合いが できて安心。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	・日々、支援の中でタイミングを見なが ら行えていると思う。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	5	0	0	0	・様々な活動から、本人の興味を引き出 す工夫が見られる。	お子様からの要望を積極的に取り入れ、活 動の反映しています。その際は高学年が主 となりリードする経験を設けています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	3	0	0	2	・地域への関りは散歩や外出などででき ていると思う。 ・利用回数が増えるので関わる機会がどう しても少ないかもしれない。	地域交流を積極的に回り、学童交流や地域 公園での関わりを設けています。
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0	・何か質問があれば、丁寧に説明がある。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0	・過去、現在を比較しながら説明があった。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	2	0	0	3	・研修会などがあれば参加したい。	保護者同士の関わりや情報提供を目的に 3月家族会を予定しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	4	0	0	1	・お互いに報告があり、嬉しいです。安心 しています。 ・利用回数が少なくなったため、連絡取り合 うことが減ってしまったが何かあれば伝 えてくれる。	おたより帳やラインを活用し、日頃のお子 様の様子をお伝えしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	0	0	・必要に応じて、話し合いの場が設けら れるので安心しています。 ・モニタリングが自宅になり、面談の機 会がなくなった。送迎時は他児もいるた め、少しの時間しか話せない。希望制で いいので面談できる機会が数ヶ月に1回 とかがあればいいと思います。	モニタリングが自宅となったことで、関 係機関が一同に集まることなくなっ てしまったので、電話やラインにてご 対応をしていますが、面談ご希望があ ればいつでも調整・実施いたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0	・家族に対し、寄り添った支援に感謝 です。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	4	・交流会があれば参加したいです。 ・一人っ子だが、リトルのお友達と兄弟 児のような関わりをさせてもらって いる。	保護者同士の交流、お子様の成長を 一緒に確認する家族会を3月に予定 しています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	1	・保護者との話し合いや、事業所での話し合いが臨機応変に行われていると思う。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0	・個々に合わせた共有や提供がされていると思う。 ・LINEで繋がっているため、LINEで相談しやすい点が良いと思います。LINEで先生の名前が入っていないので誰からの連絡が分かるように名前を入れられますか？	ラインの返信については、職員みんなで確認して送信しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	0	・月一回で紙での発信があり、その都度イベント案内がある。	インスタグラムや月間おたよりにて活動報告をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1	0	0	・カバンへの入れ間違い、名前などの個人情報取り扱いは気をつけてほしい。	細心の注意を払い、職員一同で確認していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	0	・毎日のおたよりで訓練等を実施していることは確認できる。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	1	・定期的な訓練はしていると思います。	実際避難経路をお子様と確認したり、動画にて避難時の対応を学んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	・特に送迎時など気をつけて頂いていると思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0	・ケガ1つあれば報告があるので安心。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	1	・安心しています。 ・基本家が好きなため、行く気持ちを整えるのに時間がかかる。行けば楽しんでいる。	行くまでの気持ちのがのらない時の保護者様からのサポートありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1	0	0	・リトルに行くこと楽しみにしています。 ・自宅以外は「行きたくない」と話すため、本心は分かりません。	保護者様と離れたくない気持ちを受容しながら、お子様が楽しめるものを視覚的に伝えていくことを意識しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	・親としては、いつも感謝しています。 ・大満足です。 ・今後もよろしくお願いします。	今後もリトルの方針をお伝えしながら保護者様のニーズ、お子様の達成目標を確認して進めていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービス リトルグリーンバード こくば教室	公表日	2026年3月25日
------	---------------------------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容によって、机を移動し、活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	運営基準通りの職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	児童にわかりやすい環境を整えています。自発的に動けるよう、静と動の活動はスペースを分けています。	教室に到着するまでに、階段があるため、バリアフリー対応にはなっていません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	児童の送迎後、教室清掃をしています。活動状況を見ながら活動スペースを決めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	マットやカーテンで仕切ったり、テントを活用し、1人になれる空間を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝の職員ミーティングで目的、目標を確認し、日々の療育の中で都度職員で振り返りを行っています。合同イベントを企画、実行した際は全員で振り返りをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年実施している事業所評価の結果を共有し、改善点、工夫点について深堀しています。また送迎時や来所時にも保護者の意向を確認することで、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝の職員ミーティングや個別支援に関する意見交換、情報共有は行っています。面談を設けることで職員の取り組み姿勢や業務内容、進捗状況を確認し、タスクを視覚化しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	毎月、他教室職員が輪番で巡回し5S(安全衛生品質パトロール)を実施しています。また、他教室職員がいつでも見学にきて気づきを展開しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月、リトル内勉強会を実施しています。外部研修も積極的に受講し、職員同士で水平展開しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	リトルグリーンバードのフェイスブック、インスタグラムにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者、関係機関(併用デイ、相談員、園、学校)からの情報共有を行い、アセスメントを作成しています。ニーズや課題を確認した上で、個別支援計画書を立案しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画書の作成時以外にも、送迎時に聞いた保護者のニーズや児童の現状を職員同士で共有し、児童の選択肢を広げるための策を考えています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日、児童各々の支援内容を記入し、モニタリング時には振り返りをし、進捗状況を確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者からの聞き取りや保護者へ配布したアセスメントシートへ記入された内容を再度確認し、児童の行動観察にも活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人支援、家族支援、移行支援を個別支援計画書にも反映し、具体的な支援方法を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員が静と動の活動を考案するだけでなく、毎月児童からの意見を聞く場(児童ミーティング)にて要望や意見を、毎月の活動内容に取り入れています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	曜日固定ではなく、利用児童に応じて活動内容のレベルやねらいを確認しながら設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別療育で、児童の要望や満足度を満たしたり、集中力や切り替えのスキルを習得していきます。また集団療育では異年齢の動きを模倣しやすく、協力しあいがらできることをメリットとして組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	始業時の職員ミーティングにてその日の児童情報や活動内容、ねらい、目標、児童の課題について共通認識を図り、役割を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	口頭報告だけでなく、記録に残し進捗状況を確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	業務日誌や個別支援実施記録を活用し、記録に残し課題の達成状況や、児童の様子を確認し、次回の支援計画書作成の参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	支援計画書の更新やモニタリングのタイミングで保護者や関係機関からの聞き取りを行い、見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、職員も同席することで全員が担当者会議へ参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	児童が通う園や学校、併用する児童デイとの情報共有を行っています。また、服薬をしている児童やアレルギー対応が必要な児童は、主治医と連携を図り、対策や対応について確認をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	小学校就学にむけて、就学までに身に着けたスキルの獲得を目指し、授業参観や園訪問を重ね、相互理解や情報共有を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	相談員も交えながら、担当者会議にて事前情報の共有や依頼内容の確認などを行い、継続して支援が受けられるよう相互理解につなげています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	他教室や併用デイと連携・情報共有しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	公園・公民館・児童館に行き、地域交流しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	児童の最初の状況からどう変化してきているかを記録を見ながらモニタリング時に保護者と確認しています。また送迎時や電話相談、来所での相談も随時対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		日頃の申し送りの中で関わり方などの助言・情報提供をすることはあるが、家族支援プログラムや家族向けの研修は行っていない。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学、契約時、個別支援計画書の説明時に説明を行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日頃からの申し送りや情報共有、モニタリング、家族会などを通して児童や家族の意向を確認しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	児童の現状確認と課題、目標について説明をし、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	待ちの姿勢ではなく、こちらから情報発信や問いかけをすることで、引き出す意識をして支援にあたっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	家族会を設け、保護者同士の横のつながりを作ることができました。この時、保護者限定参加にしたため、きょうだい同士で交流する機会はなかったです。	通所児童だけでなく、きょうだい同士も参加できる、イベントやレクなどを検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談は随時受け入れています。必要に応じて関係機関や病院紹介など保護者支援もかねて対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月間のお便りや、facebookやInstagramで発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の同意書を確認し、職員全員が慎重に取り扱っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々に応じて拡大コピーやコミュニケーションアプリのラインを活用し、意思疎通や情報伝達のための配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	近隣大学の実習生やボランティアを積極的に受け入れています。また、近隣の飲食店とも連携を図りイベントの協力をお願いしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定しています、非常時を想定とした訓練を集団活動の一つとし、毎月実施しています。	訓練は実施しているが、具体的な内容やマニュアルを今後保護者に周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	職員全体研修で得た知識や訓練実施での気づきをBCPに反映しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	体験前には服薬状況や既往歴を事前に確認し、職員で共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー持ちの児童がいるため、保護者に確認しながらおやつ提供を行っています。またエビペン講習（実践）も職員全体で取り組んでいます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に必要な研修や訓練は行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	保護者に災害発生などにおける基準について文書を配布し、周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書を作成し、全体会議で共有し、今後の予防に役立てています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し、研修を受けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束はしないという理念を職員間で共有しています。	契約時に身体拘束はしない方針であることを説明し、個別支援計画書にも記載しています。	